



2021年第3四半期 決算説明会

株式会社ブリヂストン

2021年11月11日

1. 2021年第3四半期累計 連結業績 … 2
2. 2021年 通期見通しについて … 13

1. 2021年第3四半期累計 連結業績

2021年第3四半期累計 業績概要

2021年第3四半期累計 業績ハイライト

- 3Qは半導体不足の影響で新車用販売が減速するも、プレミアム領域での補修用販売が好調に推移し、対前年大幅な増収増益。
- トラック・バス用タイヤは、北米を中心に販売堅調。鉱山用タイヤ/建設用タイヤは、2Qから3Qにかけて力強い回復基調に入ってきている。
- 原材料高騰の影響を売値/Mixの改善でカバー。経費・コスト構造改革の効果も寄与し、3Qの粗利/調整後営業利益率は2Qからさらに向上。
- 新車用販売減速に伴う補修用販売構成の拡大（ビジネス構成良化）が、収益性向上に寄与。

2021年第3四半期累計 財別概況

PS/LT (乗用車/ライトトラック用)

- 高インチタイヤを中心に販売を拡大 – 1-9月 PSR-HRD (18インチ以上) 販売：対前年125%
- 補修用：メジャーブランドへの集中、適切な価格マネジメントを進めながら量を拡大。
- 新車用：半導体不足の影響を受け、3Qに入り大きく需要減少。

TB (トラック・バス用)

- 補修用：建設需要/運送需要が堅調な中、特に北米での販売が好調に推移。
- 新車用：トラクター生産における半導体不足の影響を受けるも、PS/LTと比較すると影響は限定的。

OR (鉱山用、建設用)

- 鉱山用：鉱物需要の強さを背景に販売回復基調が継続。3Qは超大型の販売量が19年同期を上回った。
- 建設用：旺盛な建設需要に伴う建機OEMの生産台数増加を受け、新車用販売が大きく伸長。

2021年第3四半期累計 事業環境／タイヤ需要



為替

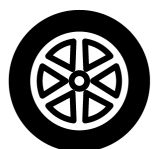
- USD、EURともに前年比円安で推移

1USD=109円 1EUR=130円 (参考) 20年第3四半期累計 1USD=107円 1EUR=121円



原材料

- 天然ゴムは、昨年来の価格高騰はやや落ち着くも、引き続き高値圏で推移。
- 原油は、1Q～2Qに引き続き、3Qも大きく高騰。



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- 新車用：半導体不足の深刻化により、3Qに需要回復が大きく減速。
- 補修用：米欧が堅調に推移する一方、日本の需要回復が相対的に弱い。

相場動向（平均価格）推移

※1 Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格

	2020年				2021年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
天然ゴム 〈TSR20〉※1 (¢/kg)	133	111	128	154	167	165	166
天然ゴム 〈RSS#3〉※1 (¢/kg)	158	138	175	235	234	221	185
原油 〈WTI〉 (\$/bbl)	46	28	41	43	58	66	71

2021年1-9月 タイヤ需要（本数 対前年/対19年）

当社推定値

	PSR (乗用車/ライトトラック用)				TBR (トラック・バス用)			
	OE(新車用)		REP(補修用)		OE(新車用)		REP(補修用)	
	対前年	対19年	対前年	対19年	対前年	対19年	対前年	対19年
日本	102%	80%	107%	88%	123%	104%	110%	81%
北米	109%	76%	119%	106%	133%	84%	126%	124%
欧州	112%	78%	115%	97%	133%	95%	120%	105%

2021年第3四半期累計 タイヤ販売本数：対前年 / 対19年



PSR/LTR

	対前年	対19年
グローバル	112%	88%
OE (新車用)		
グローバル	111%	79%
日本	101%	78%
北米	115%	79%
欧州	101%	75%
中国・アジア・大洋州	112%	80%

REP (補修用)

グローバル	113%	94%
日本	112%	87%
北米	112%	95%
欧州	105%	93%
中国・アジア・大洋州	103%	85%



TBR

	対前年	対19年
グローバル	118%	95%
OE (新車用)		
グローバル	134%	88%
日本	126%	106%
北米	130%	75%
欧州	132%	92%
中国・アジア・大洋州	177%	112%

REP (補修用)

グローバル	113%	98%
日本	117%	83%
北米	117%	114%
欧州	113%	98%
中国・アジア・大洋州	108%	91%



ORR

※第3四半期のみ(7-9月)
対19年 103%

	対前年	対19年
超大型(REPのみ)	108%	94% ※
大型	134%	104%
OE	228%	110%
REP	117%	102%
中小型	127%	101%
OE	161%	107%
REP	111%	98%



PSR 18インチ以上

グローバル	125%	105%
REP	128%	124%

2021年第3四半期累計 連結業績

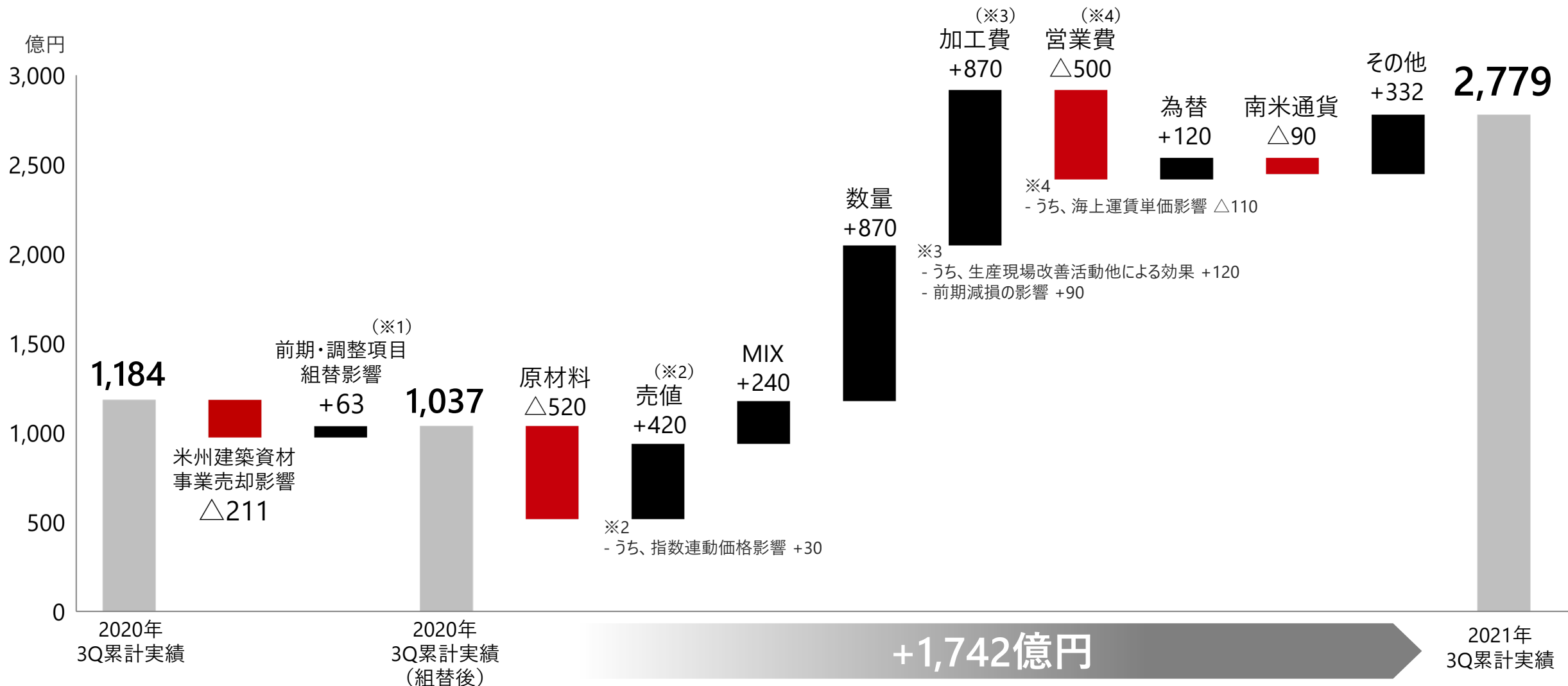
(単位：億円)

IFRS	2020年 第3四半期 累計実績					2021年 第3四半期 累計実績 ※1	前年比増減 (%) ※2
		上期累計	前年比増減 (%) ※2	第3四半期	前年比増減 (%) ※2		
売上収益	20,042	15,688	+24	8,330	+12	24,018	+20
調整後営業利益	1,037	1,762	+369	1,017	+54	2,779	+168
利益率	5.2%	11.2%	+8.3pp	12.2%	+3.3pp	11.6%	+6.4pp
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	△241	3,523	-	705	-	4,228	-
-うち継続事業	△400	1,236	-	693	-	1,929	-
-うち非継続事業	159	2,287	-	12	△84	2,299	-
USドル	107円	108円	±0円	110円	+4円	109円	+2円
ユーロ	121円	130円	+10円	130円	+6円	130円	+9円

※1 FIRESTONE BUILDING PRODUCTS (FSBP) の売却決定に伴い、2021年第1四半期連結会計期間よりFSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類しております。これに伴い、2021年の売上収益、調整後営業利益は、FSBPに関する収益・費用を除いた「継続事業」のみの金額となります。なお、対応する前年同期についても同様に組み替えて表示しております。

※2 前年比増減の算定に使用した2020年実績は、FSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に組み替えた金額です。

2021年第3四半期累計 調整後営業利益増減要因：前年差



※1 当社の連結子会社であるブリヂストンサイクル(株)が製造した自転車・電動アシスト自転車の一部対象車種の点検・改修等に関連した費用について、2020年第3四半期累計期間において発生済みの63億円を「調整項目」に組み替えて表示しております。(同費用は、2020年年度決算時に「調整項目」への組み替えを実施したため、2020年3Q決算時点では営業費に計上されていたものです。)

2021年第3四半期累計 セグメント別業績

(単位：億円)




IFRS		2020年 第3四半期累計実績	2021年 第3四半期累計実績	前年比増減 (%)
連結	売上収益	20,042	24,018	+20
	日本	6,130	6,831	+11
	米州	8,497	10,468	+23
	欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	3,947	5,075	+29
	中国・アジア・大洋州	2,326	2,762	+19
連結	調整後営業利益	1,037	2,779	+168
	日本	366	549	+50
	米州	656	1,474	+125
	欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	△126	324	-
	中国・アジア・大洋州	162	321	+98

※ 2月16日公表の決算説明会スライドに記載の通り、当社は新KPIとしてROICを導入したことに伴い、2021年より開示セグメント業績の算出方法を一部変更いたしました。
 なお、対応する前年同期についても同様に組み替えて表示しております。
 また、P.6に記載しております通り、これはFSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類し、組み替えた数値です。

2021年第3四半期累計 タイヤ事業 財別業績

(単位：億円)

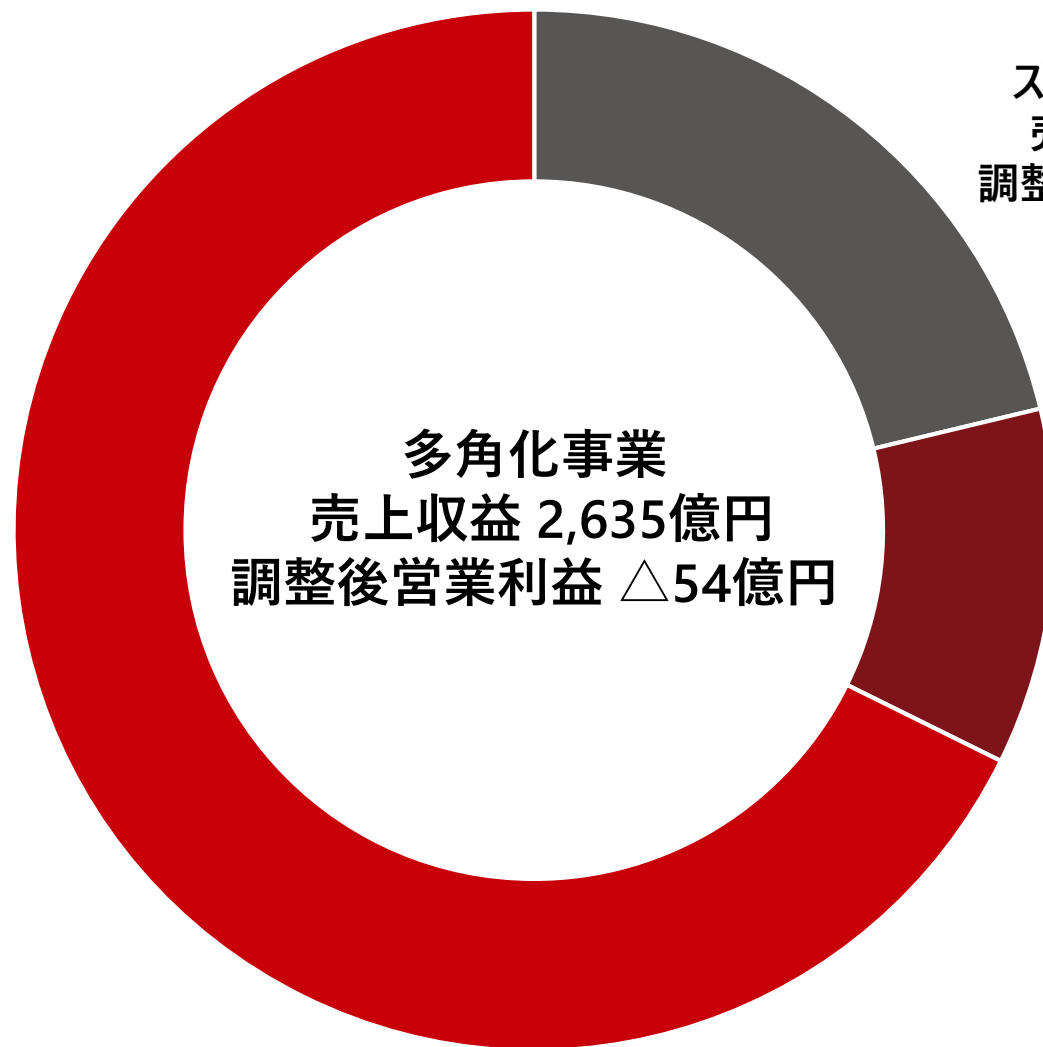
IFRS

		2020年 第3四半期累計実績	2021年 第3四半期累計実績	前年比増減 (%)
 PS/LT <small>※小売・クレジットカード事業を含む</small>	売上収益	10,180	12,155	+19
	調整後営業利益	543	1,711	+215
	利益率	5.3%	14.1%	+8.7pp
 TB <small>※リトレッド事業を含む</small>	売上収益	4,722	5,803	+23
	調整後営業利益	332	696	+109
	利益率	7.0%	12.0%	+5.0pp
 Specialties (OR/AC/AG/MC)	売上収益	2,374	2,937	+24
	調整後営業利益	353	555	+57
	利益率	14.9%	18.9%	+4.0pp

2021年第3四半期累計 多角化事業 業績

IFRS

化工品事業
売上収益 1,768億円
調整後営業利益 △111億円



多角化事業
売上収益 2,635億円
調整後営業利益 △54億円

スポーツ・サイクル事業
売上収益 555億円
調整後営業利益 20億円

米州多角化事業 (空気バネ)
売上収益 289億円
調整後営業利益 36億円

2021年第3四半期 財政状態計算書及びキャッシュ・フローハイライト

(単位：億円)

IFRS	2020年期末実績	2021年第3四半期期末実績	対前年末
	資産合計	41,893	44,527
資本合計	21,953	26,389	+4,436
親会社所有者帰属持分比率	51.3%	58.3%	+7.0pp
有利子負債〈ネット〉	1,956	△ 354	△2,311
	2020年第3四半期累計実績	2021年第3四半期累計実績	対前年同期
営業CF	3,150	1,746	△1,404
投資CF	△ 1,417	1,830	+3,247
フリーCF	1,734	3,577	+1,843
設備投資	1,711	1,395	△316
減価償却費及び償却費	1,935	1,857	△78

2021年第3四半期累計 「調整項目」及び「非継続事業からの四半期利益」について

2021年 第3四半期累計 実績 (単位：億円)

売上収益	24,018
調整後営業利益	2,779
調整項目	122
営業利益	2,658
税引前四半期利益	2,650
継続事業からの四半期利益 ※	1,929
非継続事業からの四半期利益 ※	2,299
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,228

※ 「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を記載しております。

1) 調整項目

(単位：億円)		主要内容
調整項目	122	
事業・工場再編費用	78	国内外工場の閉鎖・再編関連費用
ブリヂストンサイクル(株) リコール費用	26	自転車・電動アシスト自転車の点検・改修等に関連した費用
減損損失	17	-
その他	1	災害損失 他

2) 非継続事業からの四半期利益

- 当社は3月31日付でFIRESTONE BUILDING PRODUCTS (FSBP) の売却を完了し、当第1四半期より、FSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類しました。
- これに伴い、当第3四半期連結累計期間において、下記①、②の合計 2,299億円を「非継続事業からの四半期利益」として計上しました。

- ① FSBPを譲渡したことによる売却益
- ② 1-3月の3か月間において、同事業により発生した四半期利益

2. 2021年 通期見通しについて

2021年 通期見通しについて

為替／原材料／タイヤ需要見通し



為替

- USD、EURともに、前回見通し(8月)から若干の円安を想定。



原材料

- 天然ゴム・原油ともに、引き続き年間を通して高値圏での推移を想定。



タイヤ需要

- 新車用：半導体不足の影響継続により、前回見通し(8月)からは大きく下振れる見込み。
- 補修用：アジアでCOVID-19影響による需要下振れが見込まれるも、日本・北米・欧州では、前回見通し(8月)と概ね同水準での需要推移を想定。

原材料以外のコスト高騰について

- 4Qは、原材料のみならず海上運賃やエネルギーなどのコスト高騰影響を強く受けることを想定しており、また、北米では労務費上昇により収益性が圧迫される見通しです。引き続き売値/Mix改善や経費・コスト構造改革に注力することで、そのマイナス影響を最小化し、通期業績予想数値の達成を目指してまいります。

通期業績予想について

- 2021年通期業績予想について、2021年8月に発表した内容から変更はありません。
- 今後の事業環境や当社業績の推移を踏まえ、業績予想に大きな変更が出る場合は、その時点で速やかに開示致します。



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。